

## 製品安全データシート

多木化学株式会社

兵庫県加古川市別府町緑町2番地

担当部門 管理部 担当者 管理部長

電話 0794-35-6641 ファックス 0794-37-9685

整理番号 [MSDS No. 712 ペーパープラス]

作成 平成 11年 10月 13日

|                        |  |
|------------------------|--|
| 1. 製品名                 | ペーパープラス (別名 ソーダ灰, 一般工業用)   |
| 2. 物質の特定               |  |
| 単一製品・混合物の区別            | : 単一製品   |
| 化学名                    | : 炭酸ナトリウム (Sodium Carbonate)   |
| 成分及び含有量                | : 炭酸ナトリウム 99.0%以上  |
| 化学式又は構造式               | : $\text{Na}_2\text{CO}_3$   |
| 官報公示整理番号<br>(化審法及び安衛法) | : 化審法 1-164  |
| C A S N o .            | : 497-19-8   |
| 国連分類                   | : 国連が定義する危険物に該当しない。  |
| 3. 危険有害性の分類            |  |
| 分類の名称                  | : 分類基準 <sup>*1</sup> に該当しない。   |
| 危険性                    | : 眼や呼吸器を刺激し、皮膚に長時間付着すると炎症を起こすことがある。  |
| 有害性                    | : 飲み込んだ場合には、嘔吐、腹痛、下痢などを起こすことがある。   |
| 環境影響                   | : 水に溶けるとアルカリ性を示す。  |
| 4. 応急措置                |  |
| 目に入った場合                | : 直ちに多量の水で10~15分間洗眼した後、医師の診断を受ける。<br>擦ったり、固く眼を閉じたりしない。                                       |
| 皮膚に触れた場合               | : 十分に水洗する。異常がある場合は医師の診断を受ける。   |
| 吸入した場合                 | : 新鮮な空気のある場所に移動し、安静を保つ。<br>直ちに医師の診断を受ける。   |
| 飲み込んだ場合                | : 意識が明瞭な場合には、多量の牛乳または水を飲ませて吐かせる。<br>意識がない場合には、直ちに医師の診断を受ける。                                  |
| 5. 火災時の措置              |  |
| 消火方法                   | : 不燃性にて該当せず。   |
| 消火剤                    | : 不燃性にて該当せず。   |
| その他                    | : 消火用水を直接製品にかけた場合には、製品が溶けて排水がアルカリ性になるので、排水を中和処理すること。   |
| 6. 漏出時の措置<br>環境保護対策    | : シート等で覆って飛散防止を図り、回収物は「廃棄上の注意」の項により処理する。万一大量に漏出し、一般市民、農作物、水棲生物への影響が懸念される場合には直ちに関係官庁、当社へ連絡する。 |

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

|       |  |
|-------|--|
| 取 扱 い | : 粉立ち発生の場合は、保護眼鏡、防護マスクの着用や局所廃棄を行う。皮膚への付着を防ぐため、手袋、腕カバー等を着用する。作業後は手荒い、洗顔、うがいをする。 |
| 保 管   | : 吸湿、飛散しないように、密封容器に保管する。酸とは隔離する。   |

## 8. 暴露防止措置

|         |   |
|---------|---|
| 管 理 温 度 | : 設定されていない。   |
| 許 容 濃 度 | : 日本産業衛生学会(1993年度版)(TWA) ; 吸入性粉塵 2mg/m <sup>3</sup><br>総粉塵 8mg/m <sup>3</sup><br>ACCIH(1993-1994年度版)(TLV-TWA) ; 総粉塵 10mg/m <sup>3</sup><br>OSHA(1993年度版)(TLV-PEL) ; 吸入性粉塵 5mg/m <sup>3</sup><br>総粉塵 16mg/m <sup>3</sup> |
| 設 備 対 策 | : 取扱い場所の近くにシャワー、手洗い・洗眼設備、排気装置等を設ける。   |
| 保 護 具   | : 防塵マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、腕カバーを着用。  |

## 9. 物理/化学的性質

|           |             |
|-----------|-------------|
| 外観等       | : 白色粉体      |
| 沸点(°C)    | : データなし     |
| 融点(°C)    | : 851       |
| 蒸気圧(mmHg) | : データなし     |
| 比重        | : 2.53      |
| 溶解度       | : 21%(20°C) |
| 凝固点       | : データなし     |
| 嵩比重       | : 0.7~1.5   |

## 10. 危険性情報

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 引火点(°C) | : なし                              |
| 発火点(°C) | : なし                              |
| 爆発限界    | : なし                              |
| 粉塵爆発発生  | : なし                              |
| 自然発火性   | : なし                              |
| 可燃性     | : なし                              |
| 分解温度    | : 400°C付近よりCO <sub>2</sub> を失い始める |
| 自己分解性   | : なし                              |
| 酸化性     | : なし                              |
| 安定性     | : 空気中で、徐々に吸湿し、一水塩となる              |
| 自己反応性   | : なし                              |
| 反応性     | : 酸と発熱反応し、CO <sub>2</sub> を放出する   |

## 11. 有害性情報

|      |  |
|------|--|
| 刺激性  | : 皮膚刺激性 ウサギ 500mg/24H 激しい刺激影響          |
|      | : 眼刺激性 ウサギ 100mg/24H 激しい刺激結果           |
| 急性毒性 | : 経口投与 ウサギ LD <sub>50</sub> 4,000mg/kg |
|      | : 腹腔投与 マウス LD <sub>50</sub> 117mg/kg   |
|      | : 経口投与 ネズミ LD <sub>50</sub> 4,200mg/kg |

発がん物質分類 : 日本産業衛生学会(1993年度版)、OSHA(1993年度版)、NTP(1989年度版)  
IARC(1989年度版)のいずれにも記載なし。

(註)LD<sub>50</sub>(50% Lethal Dose) : 供試動物の50%が致死する体重1kg当たりの投与量

---

#### 1 2. 廃棄上の注意

- 1) 廃棄するときは、水に溶解した後、薄い酸で徐々に中和し、多量の水で希釈する。
  - 2) 中和時には、CO<sub>2</sub>ガスが発生するので、換気を良くする。
  - 3) 濃度の濃い酸で中和すると、発熱が大きく、またCO<sub>2</sub>ガスの発生が激しくなり、液が容器から吹き出すことがあるので、必ず薄い溶液で中和する。
- 廃棄の際は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「水質汚濁防止法」等関係法令を遵守する。
- 

#### 1 3. 輸送上の注意

破袋につながる粗暴な扱いをしない。袋が雨水等に濡れないよう注意する。その他、取扱い及び保管所の注意に準ずる。酸との混載は避ける。

---

#### 1 4. 適用法令

- 1) 食品衛生法 施行規則第3条 健康を害う恐れのない化学的合成品(別表第2)
  - 2) 薬事法(医薬品原料)
- 

この製品安全データシートは、現時点において当社が入手している資料・情報に基づいて作成したものですから、その限りにおける危険・有害性・環境影響その他に関する情報を提供するものです。今後、新たに得る知見により、記載事項を改訂変更することもあります。

---

#### 記載内容の問合せ先

多木化学株式会社 工業薬品営業部 営業開発課 T e l . 0 7 9 4 - 3 7 - 0 6 5 4  
兵庫県加古川市別府町緑町2番地 F a x . 0 7 9 4 - 3 7 - 0 9 3 9

---

#### 引用文献

- \*1 (社)日本化学工業協会の製品安全データシート作成指針による分類基準 ((1)爆発性物質、(2)高圧ガス、……、(12)その他の危険有害な性状を有する製品)